

動物園条例制定に向け検討しています！

令和元年10月から、専門家や市民が参加する動物園条例検討部会で動物園の運営に関する条例について検討しています。その検討状況などをご紹介します。

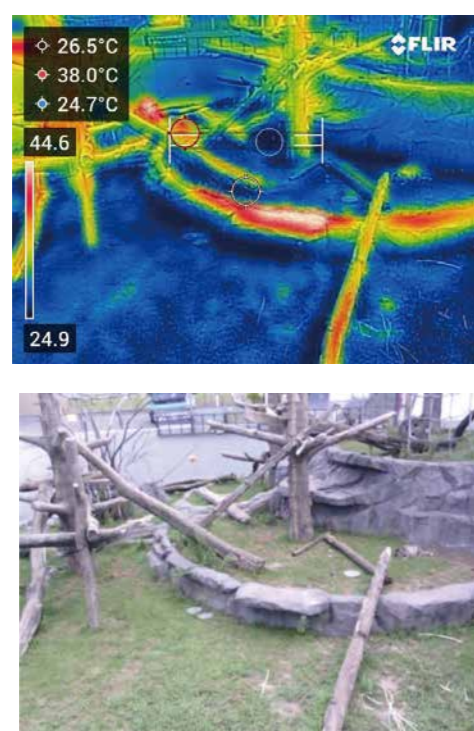
良好な動物福祉の確保への取組ってどんなこと？

○動物の種類や個体ごとに適した栄養管理や生活環境を整えるとともに、病気の予防や適切な治療を実施します。

～円山動物園の取組を紹介 その2～

身体的領域

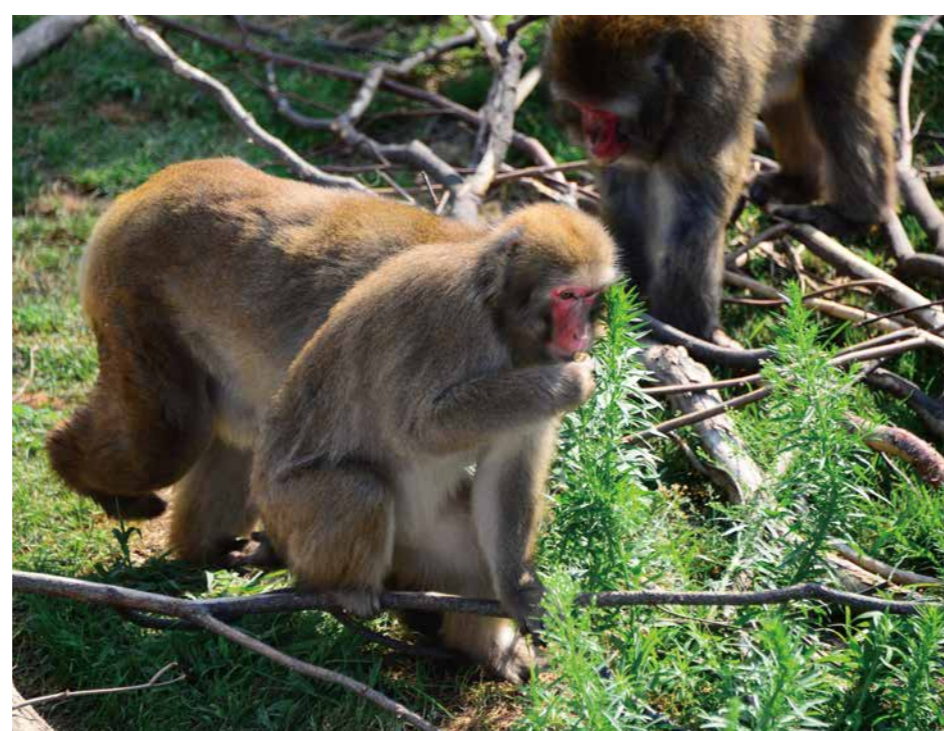
栄養



サーモカメラによる展示場の温度

身体的領域

環境



植栽にまかれた穀類を探索する様子

身体的領域

行動



樹木を食べる様子

精神的領域

精神



グルーミングの様子

ニホンザルの展示場（飼育環境）

床の緑化は、夏の日差しの中でも環境が高温になることを防ぎ、餌の探索時間を増加する効果が得られている。また、樹木の給餌は本来の食性を引き出している。

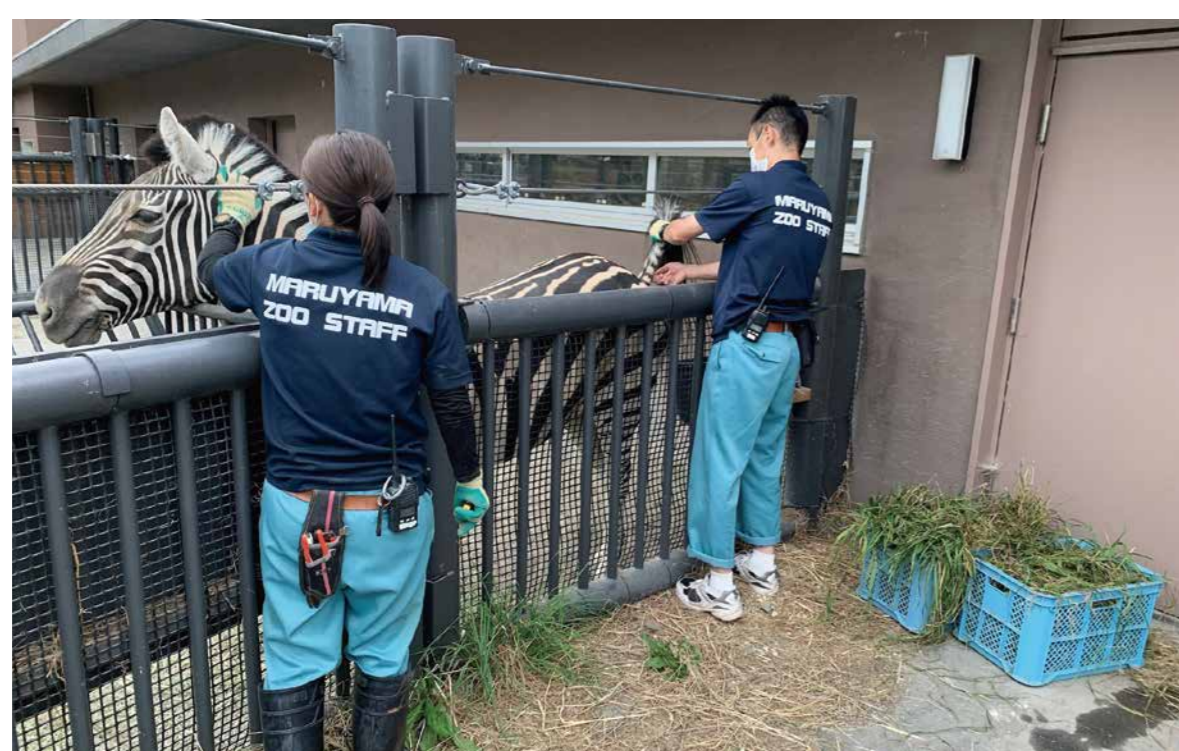
本来の生態に基づき群れで飼育することにより、グルーミング※などの個体同士の関係性の発現、社会性の構築、安心、満足感につながっている。

※グルーミング

皮膚、毛、羽毛などをきれいにしたり、整えたりする行動のこと。社会性のある動物では個体間同士で行い、群れの社会構造や家族の絆を補強するなどの役割を果たすといわれており、一部の種では和解の手段としても用いられる。

身体的領域

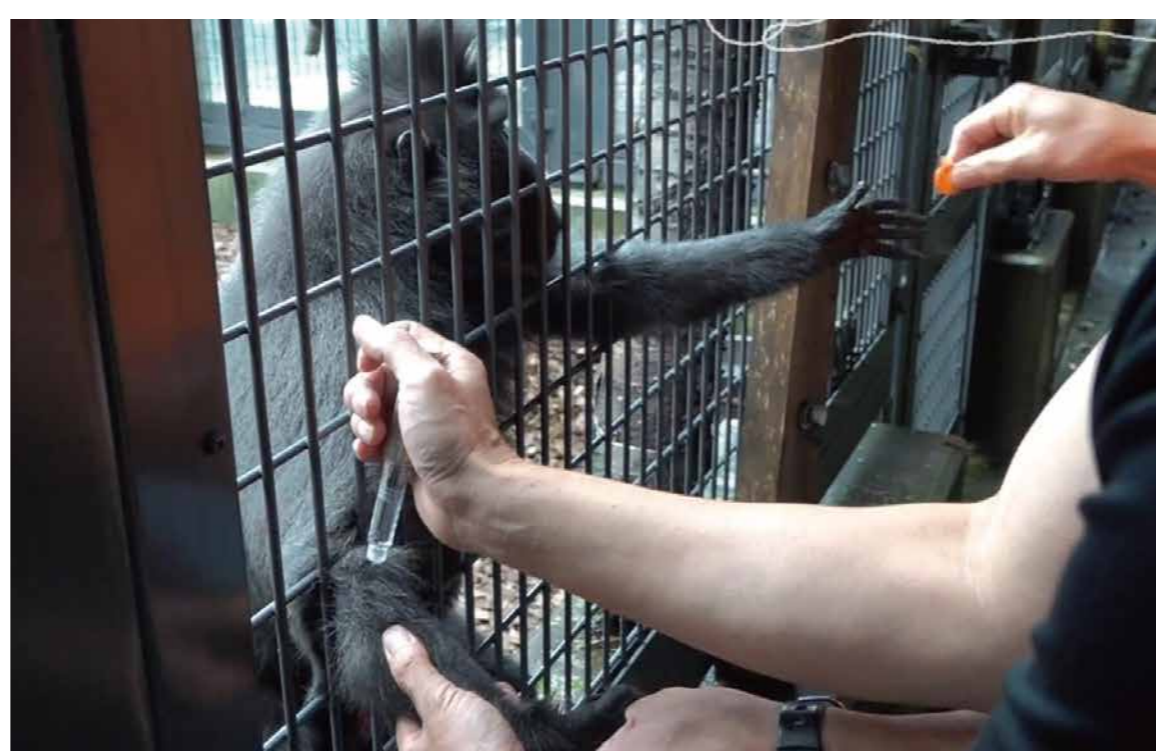
健康



シマウマの尾からの採血

精神的領域

精神



クロザルの糖尿病治療のためのインスリン注射

※1 ハズバンドリートレーニング

笛などの合図や餌などにより、日常の管理や健康管理のために必要な姿勢や行動を動物が自主的に行うように訓練すること。

※2 保定

診察や治療をする際に、暴れたり動いたりしないように体をおさえておくこと。

ハズバンドリートレーニング※¹による採血や治療の実施

定期的な血液検査や治療薬の投与は健康管理に欠かせないが、そのために行う麻酔や物理的な保定※²は身体的負担や不安・痛み・怒りといった精神的負担が大きい。ハズバンドリートレーニングによって、このような動物への負の経験を無くすことができる。